

幸常閣 議会報告

第19号
2010.7

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐2015番地
TEL 025-777-2245



次世代と明日のために 7月11日あなたの一票を！

民主党をどう評価するか。民主党5つの約束(①むだづかい②子育て・教育③年金・医療④地域主権⑤雇用・経済)55の公約(・沖縄米軍基地最低でも県外・子供手当26,000円・高速道路無料化・ガソリンを安く……)は、「事業仕分けを除けば」目立った成果がない。そして、首相と幹事長のツートップが「政治と金」の疑惑にまみれ、支持率が落ちて参議院選挙は戦えないという悲鳴が相次いだから、鳩山から菅へと「表紙」を代えた。

自民党はどうか。50年の政権与党慣れのために、野党としての戦い方が解らないのか、民主党への批判が目立ち、下野したという反省が聞こえない。加えて谷垣総裁では、迫力が無く参議院は戦えないと大物議員の離党が相次いだ。

衆議院選マニフェストが間違っていたと国民に謝罪すべしの「公明党」。沖縄普天間米軍基地問題で筋を通した「社民党」。郵政法案見送られるも権力に居座る「国民新党」。首相にしたい議員一番が率いる「新党改革」。台風の日・民主、自民の崩壊を促す「みんなの党」。日本の復活をかかげた熟年パワーの「たちあがれ日本」。弱者の味方と言う「共産党」。他「幸福実現党」等。

昨年の衆議院選挙、国民の一票で政権を代えた。今回の選挙は、その政権に衆議院に続いて多数を与えるか否かの選択の選挙だ……。

私はこの10ヶ月民主党の政策に触れ、日本の安全・安心に一番大切な外交・防衛力(普天間問題)の弱さを見るに不安になった。政策を熟考し、日本を託せるのはどの政党か見極めよう。

7月11日「あなたの一票」が、私たちの暮らしを守ります。新潟からは6人の候補者が立候補しました。新潟のこと地域のことを良く知り、私たちの要望を国に届けてくれる、初挑戦の清新な若い候補者を国会に送ろう。



参議院選挙候補者

6月定例議会～20人が一般質問に立ち市長と相対す！

六月議会初日、松原良道議員在職十年以上、峠佳一前議員正副議長四年以上の功績で、全国市議会議長表彰伝達式が行なわれる。

今議会の提出案件は、条例3件、予算2件、他17件です。

六月議会には、市が半分以上出資している、「土地開発公社」「しゃくなげ湖畔開発公社」「八海山・白の世界文化村」の経営状況について報告を受ける。経営状況が良とは言えない。特に塩漬けになっている土地を有している、土地開発公社の経営は抜本的に考えなくてはいけない。

大型の工事である「市消防庁舎建設」「浦佐こども園建設」の工事請負契約の締結が議会で承認され、待望の施設が着工の運びとなる。

癌の中でも唯一予防可能とされている「子宮頸ガン」予防ワクチンを当初予算では、中学生女子一年生分だけであったのを、二年三年生分を補正予算で組む。この取組みは県内では初めてである。

一般質問は(株)ウオロクの出店で2名、野球場建設に6名の議員が市長と激論を交わす場面もあった。

議会最終日、大相撲の不祥事により、八月六日に開催される大相撲「南魚沼場所」中止の意見が出る……！

一般質問(6月15日)

●戸別所得補償モデル対策事業について

山田農林大臣は、農政の大転換(価格支持の補助金行政から所得政策～直接支払いの導入)の歴史的な第一歩と、そして、農業農村の多面的機能が発揮できるように「環境加算を検討する」と言っている。

また、この制度は先進国最低の自給率を50%に向上させ、農業と地域を再生し、農山村に暮らす人々が将来に明るい展望を持って生きていける施策だと言っている。

この事業は作付け面積から10アールを引いた面積に販売農家であれば誰でも15,000円所得補償収入になる。もちろんこの15,000円の交付を得るには生産調整に参加することが基本。

しかし、津南町は対象農家1600戸のうち、戸別所得補償への加入は5割。この事が示すように魚沼コシヒカリにはメリットがない。

今後全国で、コメの作付けが増える。そうなれば、米価は確実に落ちる。

このような状況が想定されるが、本当に本対策は米づくりに明るい展望をもたらすのか伺う。

(市長)

この施策はもう一つの柱である「水田利活用自給力向上事業」とセットになっており、所得を保障すると言うことでは、否定する施策ではない。しかし、この施策は全国一律で、魚沼コシヒカリの私どもの地域には、メリットは少なく不満でもあり不安である。

今後とも、適地適作を主張しコシヒカリを全面積に作付けできるようにしたい。米価下落防止のためにもセーフティーネットは必要だ。

●農協合併について

魚沼コシヒカリを核とした更なる発展・産地の強固な地盤確率のためにも、JAしおざわとJA魚沼みなみの合併は不可欠で、18年12月の一般質問でも取りあげた。

米をはじめとする農産物は、海外からの輸入・JA間競争とますます厳しく、産地の生き残りをかけた戦になることは必至だ。

今後は地産地消を柱に、農業と観光が一体となった取組み、農商工連携の6次産業化で地域経済を起こす。そして、新しい販売戦略(米の輸出等)を構築するためにも合併は不可欠だ。

六日町と大和町の合併から10年を得た今日、今一度仕切り直し、市長からの働きかけが必要と思うが市長の見解を伺う。

(市長)

地域経済、農業振興、そしてJAの事業発展のためにも合併は不可欠だ。

行政が、主導というわけにはいかないが働きかけたい。

●野球場の整備について

大原運動公園の整備については、9月議会に基本設計の予算を計上すべく準備をすすめている。その整備のうちで、野球場建設に対し市民19,212名の方が反対署名を行っており、その署名は重い。反対者も含む市民の不安を払拭し、野球場を整備することが大切と思うが市長の見解を伺う。

(市長)

野球場建設で市民がいがみ合ってはならないので、野球場建設推進者が賛成署名をしそうになったので、署名合戦だけは止めてもらった。建設をする場合でも、中止する場合でも関係者の皆さんには丁寧に説明し理解いただく。

レポックス

4/7 浦佐小学校入学式



4/25 高田自衛隊創立60年

5/2 町内花見の宴



5/3 毘沙門様春の例大祭
最高幹部と沼垂講中

6 月 議 会 概 要(8日~18日)

★ 市長所信表明



- 当市の自殺率の低下が顕著であったことについて県から評価をいただいた。今後も更に相談体制を充実させる。
- 地盤沈下対策に対応するため、地下水熱を利用した屋根融雪・冷暖房住宅を建設し実証実験を行なう。太陽光、小型風力発電も設置。
- 野球場含む大原運動公園事業、9月議会に基本設計の予算計上を。
- 学区再編の取組みには、城内、大巻、五十沢の三中学校区と上田地区について、各集落への戸別説明、意見交換会を計画している。
- 4月11日にオープンした「戦国エキスポ」5月8日に1万人を達成。南魚沼グルメマラソンには全国から3,270名の申し込みがある。
- 21年度の一般会計の実質収支見込額は5億4,855万円になった。

< 総務文教委員会・4/27 >

①坂戸城跡 ②中学生海外派遣事業 ③防災計画 ④図書館整備検討委員会 ⑤大原運動公園(野球場)整備検討委員会の調査報告。大原運動公園について、誘客、観光面、少年野球、屋内練習場、既存施設の集約、総事業費、大会誘致等多くの意見がでる。

< 産業建設委員会・5/11 >

①遠隔監視システム(水道事業) ②六日町浄化センター ③スキー場の入り込み ④戸別所得補償モデル事業の調査内容を報告する。スキー観光は平成4年が350万人とピークで今シーズンは114万人と3分の1になっており抜本的な対策が必要だが……。

< 社会厚生委員会・4/28 >

①高齢者福祉施設 ②地下水対策 ③次世代育成支援行動計画 ④その他・有害鳥獣対策・女性特有がん検診受診率の調査内容を報告する。特養入所実待機者は422人。要介護4・5の待機者を優先し、うち在宅の要介護度の高い人61人を最優先している。

★「株式会社ウオロク」の市文化会館駐車場への出店申し込み

3月4日に市長宛に出店申し込みがあり、4/20と5/28に経済委員会では集中的に議論する。六日町商工会からは進出反対の意見がある。消費者からは歓迎する声もある。ウオロクの出店が文化会館の利用に不便にならないのか、街中に賑わいを取戻せるのかむずかしい選択を迫られる。

★ 駅前ショッピング「ララ」街づくり会社

駅前・街中の活性化をめざし、平成6年10月に開店したが、その後郊外にジャスコや原信が進出し経営的には苦戦している。市が3億円(36.6%)出資している「市民の店」です。アルビレックス(サッカー)のように地元が応援しなくては勝てない!



5/6 生後2日目
孫「桜子」です

5/17~18 地方自治研修会



5/29 JA総代会
新組合長に戸田春雄氏

6/16 参議院候補
「中原八一」総決起大会



かわら版(ミニ情報)

★ 親子田んぼ教室 (5月30日)

(有)ウラコウでは、お米や食料の大切さ、田んぼが環境保全に果たしている役割等を学んでもらおうと、昨年が続いて開催しました。当日は絶好の田植え日和となり、2時間親子で悪戦苦闘の田植えにチャレンジしました。

秋には稲刈りも計画しており、参加者にはコシヒカリ 1kgのプレゼントがあります。



ていねいに上手に植えた

★ 第22回 東京やまと会 (6月6日)



故郷の味(山菜)大好評



田中会長の挨拶

あちこちで、「ふさんこったの元気だったかい……」と、一年ぶりの再開に顔がほころぶ。故郷を離れ、慣れない都会での暮らし、顔に多くの苦労のあとが伺える。そして、いつも故郷の発展のことを願ってくれている。

あつという間の3時間。みなさんの益々のご健康を祈り、会場の上野「精養軒」を後にする。

★ まちづくりは「花植え」から……!



金柵屋さんのご厚意で、昨年宅地跡地に「毘沙門堂参道」を新設する。その新参道に、6月10日「KCK跡地利用推進協議会」(会長・上村守)が、サルビアの花を植える。石垣、階段は昔の面影を残しており、階段を登ると毘沙門堂の山門が目の前に現われる。

6月12日土曜日、天王町から病院に向かう道路脇に1200本のサルビアを植える。朝6時眠い目をこすりながら、天王町区の役員の皆さんがボランティアで作業に当たってくれた。この道を、農地・水・環境を大切に「**いやし・やすらぎ花街道**」と命名する。



★ 6月13日びしゃもん市「小さなお祭り」

毎月第2日曜日は「小さな祭り」を開催している。毘沙門通りが賑やかになるのを夢見て!



政五郎そばやさんが応援に



餅つき大会とテント内は盛況!



評判の焼きそば!

編集後記
梅雨に入りました健康にはご留意下さい。「紫陽花」が雨に濡れ咲き誇っています。二人目の孫が授かりました。桜子といいいます。二人目は写真を撮る回数が少ないと反省しています。

● お知らせ
浦佐北越銀行裏の「ぐるーぶくらぶ」で酒井建(関好和)の写真展「八色の森公園にて」を開催します。
(7/16) 7/3
1・日月祝は休館
7月の「小さなお祭り」は、浦佐夏祭りのため休みます。17日前夜祭は神社で奉納芸能大会が初めて行なわれます。18日が御輿様と花火大会。19日は民謡の流しです。